

## 第Ⅱ群 7席

### サービスリーダーが関わった新人看護師看護技術修得支援の評価

教育委員会 ○坂尾雅子 中西悦子 越野みつ子  
飛田敦子 吉野晴美 福間明美  
山内由美子 広瀬育子

Key word : サービスリーダー 新人看護師  
看護技術修得

#### はじめに

当院看護部の新規採用者(以下新人看護師とする)の看護技術修得については、従来各部署のプリセプター(卒後3~4年目の看護師)が主に担当してきた。プリセプターは1年間を通して看護技術のみならず、その他の指導も中心に関わるため、負担も大きかった。又、指導方法は各自にまかされていたため一貫性なく、修得結果も明確ではなかった。

そこで平成15年に打ち出された厚生労働省の「新人看護職員看護技術修得に向けての指針」に基づき、看護部内OJT委員会では、新人看護師に早期に指導の必要な看護技術内容7項目を選定したのでクリニカルリーダーのスタッフナースⅣのサービスリーダーが昨年度から関わることとなった。指導案にそって根拠のある説明をおこない、患者の同意を得、プライバシーを守りながら各項目の指導を行なった。

又、技術の遂行に伴う必要物品の確認から後片付けまでを新人一人一人に個別に関わることで、看護技術修得に効果があったのでその結果を報告する。

#### I. 研究方法

1. 研究期間 : 平成19年5月~平成19年8月
2. 研究対象 : サービスリーダー22人と新人看護師55人
3. 研究方法 : 1) 病棟配置の新人看護師51名の指導項目は血糖測定・採血・輸液準備と介助・酸素療法・点滴をうけている患者の清拭・筋肉注射・浣腸の7項目で、指導案をもとに6月末までの指導結果から修得状況をみた。2) サービスリーダーが指導後の自己評価と新人看護師55人からみたサービスリーダーの指導結果を比較した。
4. 指導の評価方法 :
  - 1) サービスリーダーが各項目を新人看護師一人ずつに指導案をもとに指導した。

- 2) 指導案の評価内容は25項目である(表1参照)。
- 3) 評価は「3 十分行動がとれている・2 行動がとれている・1 行動が十分とれていない」の3段階で2点以上を認定とした。
- 4) 技術の実施に該当する対象患者がいない場合はモデルを決め実施する。
- 5) 評価はできるだけサービスリーダーが行う。
5. 倫理的配慮: データは研究目的以外には使用せず、個人の特定ができないよう配慮した。

#### II. 結果

1. 7項目の修得結果75点満点を100点計算で表現した(表2参照)。
  - 1) 7項目中、血糖測定(平均94点)・採血(平均91点)・輸液準備と介助(平均90点)・酸素療法(平均89点)で全員が修得できた。
  - 2) 筋肉注射は平均85点で1人が未修得であった。
  - 3) 点滴静脈注射をうけている患者の清拭は平均86点で2人が未修得であった。
  - 4) 浣腸は平均84点で3人が未修得であった。
  - 5) 未修得の状況は3項目とも同じ新人看護師が1人と浣腸では同じ部署の新人看護師1人であった。この部署は日常3項目に該当する対象患者がいない部署であった。
2. サービスリーダーの指導についての評価と新人看護師からみたサービスリーダーの指導評価で「できていた」項目(表3参照)。  
できたと評価するのは「十分できた」「できた」  
できなかったと評価するのは「あまり十分ではなかった」「十分でなかった」とした。
  - ・No1「指導案は活用できた」がサービスリーダーも新人看護師も全員活用できたと答えた。
  - ・No3「プライバシーの配慮の説明はできたか」についてサービスリーダーは21人(95.5%)新人看護師はそれにそってできたと53人(96.4%)が答えた。
  - ・No4「指導案は理解できた」についてサービスリーダーは18人(81.2%)新人看護師52人(94.5%)が理

解できたと答えた。

- ・No5 「注意が必要なポイントを教えることができた」についてサービスリーダーは18人(81.2%)新人看護師49人(89.1%)が理解できたと答えた。
  - ・No8 「報告の内容の指導はできていましたか」についてサービスリーダーは16人(81.2%)新人看護師54人(98.2%)が理解できたと答えた。
  - ・No2 「後片付けは確実にできていましたか」についてサービスリーダーは21人(95.5%)が新人看護師も48人(91.9%)ができていたと答えた。
3. サービスリーダーの指導で「あまりできていなかった」項目
- ・No10 「記録の入力についての必要性を教えましたか」についてサービスリーダー9人(40.9%)新人看護師13人(23.6%)があまり十分ではなかったと答えた。
  - ・No11 「技術方法を事前に十分に示しましたか」についてサービスリーダー9人(40.9%)新人看護師5人(9.1%)があまり十分ではなかったと答えた。
  - ・No12 「新人看護師の技術を事前に確認しましたか」についてサービスリーダー10人(45.5%)新人看護師6人(10.9%)があまり十分ではなかったと答えた。
  - ・No13 「患者様の観察はできていましたか」についてサービスリーダー13人(59.1%)新人看護師18人(32.7%)があまり十分ではなかったと答えた。
4. 新人からのサービスリーダーの指導の評価は高いがサービスリーダーの評価が低かった項目
- ・No7 「援助内容の説明は十分できたか」について新人看護師はできていると思っているがサービスリーダーは6人(27.3%)があまり十分ではなかった。と思っていた。
  - ・No9 「難しかった項目の振り返り」も新人看護師はできていると思っているがサービスリーダー6人(27.3%)があまり十分ではなかったと思っていた。
  - ・No6 「同意をとる必要性を伝えたか」について新人看護師はできていると思っているがサービスリーダーは5人(22.7%)があまり十分ではなかったと思っていた。
5. 指導に対する自己評価について(表4参照)
- サービスリーダーは満足している人とあまり満足していない人が半数ずつに分かれたが、新人看護師53人(96.3%)でほとんどが満足していた。
6. サービスリーダーの指導方法についての意見(表5)
- ・No1 項目の指導に要した時間は1時間以内が11人(50%)であった。1~2時間は7人(31.8%)であった。
  - ・No2 評価基準の3段階の「十分行動がとれている」

の十分という評価があまり適切ではないと答えたのは16人(72.7%)であった。

7. サービスリーダーがそばにいてくれたことに対する新人看護師の意見について(表6参照)
- サービスリーダーがそばにいたことが安心であったと新人看護師53人(96.3%)が答えていた。

### III. 考察

昨年度からサービスリーダーが看護技術7項目を新人看護師に指導してきた。しかし、指導案が具体的でなくどのように指導すればよいのか一貫性がないという評価であった。教育委員会では参考文献をもとに1項目ずつの指導案を作成し、指導時に活用され看護技術修得のために効果があったことは評価すべきである。さらに「プライバシーの配慮」、「指導案の理解」、「注意が必要なポイント」、「報告の内容の指導」、「後片付け」ができたことは看護技術修得における基本事項がサービスリーダーによってできたことは第1段階として効果があったといえる。

しかし、今回の調査結果からは「記録の入力」や「患者様の観察」、「事前に新人看護師の提供する技術確認」などがあまり十分ではなかったことは今後の課題に繋がる。サービスリーダーが指導する目的は看護技術修得のみではなく患者様への配慮をした技術提供の技を伝承していくことである。今後は指導内容の標準化と技の可視化を図ることである。新人看護師に1項目を指導し修得させるには少なくとも1~2時間を要する。さらに4月~6月末までに新人看護師に7項目を技術修得させるには業務をしながら指導するサービスリーダーにも負担であることがわかった。

指導項目の血糖測定・採血・輸液準備と介助・酸素療法は一般病棟で共通していたが、点滴をしていた人の清拭の事例検討や筋肉注射も使用頻度が減っていること、浣腸は疾患上禁忌である病棟もあり、6月末までの早期に指導することは検討課題かと示唆された。今後は今回の結果を踏まえ指導案の活用方法について検討していくことが必要であることがわかった。

### IV. 結論

1. 指導案は指導に役立った。
2. サービスリーダーがそばにいたことは新人看護師の安心した看護技術の提供につながった。

### 参考文献

- 竹尾恵子他：看護技術プラクティス，学研，2005。  
川島みどり他：基礎看護技術ガイド，照林社，2007。

表1 サービスリーダー指導項目 酸素吸入療法

達成目標：医師の指示の正確な酸素量と投与方法を患者に実施できる  
 実施方法：対象患者を決め指導する。対象者がいない場合はモデルをきめ実施する。  
 評価基準：（ 3. 十分行動がとれている 2. 行動がとれている  
 1. 行動が十分とれていない） 評価2を認定とする  
 評価者：サービスリーダーができる限り評価する。指導は他のスタッフでもよい。

病棟 階 部・ICU 氏名 月 日

| 項目  | 評価 |
|---|----|
| 1 目的は動脈血の酸素化をはかり、末梢の組織細胞に十分な酸素供給を行うことによる低酸素の改善と予防であることがいえる  |    |
| 2 適応は動脈血ガス分析により低酸素血症をきたしている場合であることがいえる<br>ショック状態や心不全による全身循環不全に陥った場合、手術後や重度外傷直後など低酸素血症に陥る危険性がある場合であることがいえる |    |
| 3 医師の指示を指示書で確認する。酸素量と方法（酸素マスクか鼻カニューレ）   |    |
| 4 必要物品を準備できる（酸素流量計・連結チューブ・酸素マスクか鼻カニューレ）   |    |
| 5 患者の意識が清明ならば医師から説明されていることを確認し、同意を得る  |    |
| 6 口頭指示の場合酸素療法の必要性を患者に説明し、同意を得る  |    |
| 7 患者確認（患者の意識が清明なら名乗ってもらう。清明でない場合はリストバンドを確認）   |    |
| 8 中央配管の接続部を開ける  |    |
| 9 酸素流量計の接続部を中央配管供給口に「カチン」と音がするまで挿入する。   |    |
| 10 酸素流量計の接続部がしっかり固定されているかを確認する。   |    |
| 11 酸素流量計の開閉部を開き酸素の流量状態を点検し、再度開閉口をしめる。   |    |
| 12 酸素流量計から接続チューブをつける  |    |
| 13 患者に酸素マスクか鼻カニューレをつけ連結チューブを接続する  |    |
| 14 指示された酸素量を流量計のねじを右へまわし投与する。   |    |
| 15 酸素流量は必ずボール型浮子の場合浮子の中心と同じ高さで目盛をみる。  |    |
| 16 酸素マスクは鼻の湾曲に沿うよう金属プレートで固定する。  |    |
| 17 マスクの密着具合で変化するのでしっかり装着するように患者に説明する。   |    |
| 18 長期に酸素マスク使用の場合は鼻や顎や耳など接着面に皮膚の変化がないかを確認する。   |    |
| 19 鼻カニューレの場合は両鼻孔に1cmほど差込み、めがねのようにかけ顎もとで輪を固定する。  |    |
| 20 鼻カニューレの場合は口呼吸しないように患者に説明する。  |    |
| 21 鼻閉感がないかを確認する。  |    |
| 22 長期に鼻カニューレ使用の場合鼻の粘膜に損傷がないかを確認する。  |    |
| 23 患者の呼吸状態を観察する。  |    |
| 24 酸素マスクや鼻カニューレ・連結管もはずれていないことを確認する。   |    |
| 25 酸素使用中は火気厳禁であることを説明する。  |    |
| 合計点   |    |

指導のポイント

- ①指示に沿って正しく器具が選ばれましたか      ・はい    ・いいえ    ・もう少し
- ②指示に沿って正しい量の酸素を投与できましたか      ・はい    ・いいえ    ・もう少し
- ③患者さんに使用上の注意が説明できましたか      ・はい    ・いいえ    ・もう少し

表2 平成19年度 新人看護技術修得状況 (病棟配置51人)

| 項目    | ①血糖  | ②採血 | ③輸液準備 | ④酸素療法 | ⑤筋肉注射 | ⑥点滴をうけていた人の清拭 | ⑦洗腸 |
|-------|--|-----|-------|-------|-------|---------------|-----|
| 平均点   | 94   | 91  | 90    | 89    | 90    | 86            | 84  |
| 未修得人数 | 0  | 0   | 0     | 0     | 1     | 2             | 3   |
| 未修得状況 | ⑤⑥⑦の3項目とも同じ新人看護師1人と洗腸では同じ部署の新人看護師1人であった。この部署は日常3項目に該当する対象患者がいない部署であった。 |     |       |       |       |               |     |

表3 サービスリーダーが指導したことに対するサービスリーダーの自己評価と指導を受けた新人看護師の評価

サービスリーダーの自己評価 n=22 (人)

新人看護師の評価 n=55 (人)

| No | 項目                  | サービスリーダーの自己評価 |           |             | 新人看護師の評価 |          |           |           |           |         |         |         |
|----|---------------------|---------------|-----------|-------------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
|    |                     | 十分できた         | できた       | あまり十分ではなかった | 十分できなかった | 十分ではなかった | 未記入       |           |           |         |         |         |
| 1  | 指導案は活用できましたか        | 3人 13.6%      | 19人 86.4% | 0人 0.0%     | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 22人 40.0% | 33人 60.0% | 0人 0.0%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 2  | 後片付けは確実でしたか         | 2人 9.1%       | 19人 86.4% | 1人 4.5%     | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 16人 29.1% | 34人 61.8% | 5人 9.1%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 3  | プライバシーの配慮の説明はできましたか | 6人 27.3%      | 15人 68.2% | 1人 4.5%     | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 34人 61.8% | 19人 34.5% | 2人 3.6%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 4  | 指導案は理解できた           | 3人 13.6%      | 15人 68.2% | 4人 18.2%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 13人 23.6% | 39人 70.9% | 3人 5.5%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 5  | 注意が必要なポイントを教えましたか   | 0人 0.0%       | 18人 81.8% | 4人 18.2%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 23人 41.8% | 31人 56.4% | 1人 1.8%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 6  | 同意をとる必要性を伝えたか       | 3人 13.6%      | 14人 63.6% | 5人 22.7%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 28人 50.9% | 22人 40.0% | 3人 5.5%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 2人 3.6% |
| 7  | 説明は十分できましたか         | 1人 4.5%       | 15人 68.2% | 6人 27.3%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 23人 41.8% | 32人 58.2% | 0人 0.0%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 8  | 報告の内容の指導はできましたか     | 2人 9.1%       | 14人 63.6% | 6人 27.3%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 16人 29.1% | 33人 60.0% | 5人 9.1%   | 1人 1.8% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 9  | 難しかった項目の振り返りはできましたか | 2人 9.1%       | 14人 63.6% | 6人 27.3%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 28人 50.9% | 25人 45.5% | 2人 3.6%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 10 | 記録の入力について必要性を教えましたか | 0人 0.0%       | 13人 59.1% | 8人 36.4%    | 1人 4.5%  | 0人 0.0%  | 10人 18.2% | 31人 56.4% | 13人 23.6% | 0人 0.0% | 1人 1.8% | 1人 1.8% |
| 11 | 技術方法を新人に十分示したか      | 2人 9.1%       | 11人 50.0% | 9人 40.9%    | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 29人 52.7% | 21人 38.2% | 5人 9.1%   | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 12 | 新人の技術を事前に確認しましたか    | 2人 9.1%       | 10人 45.5% | 10人 45.5%   | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 20人 36.4% | 27人 49.1% | 6人 10.9%  | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 2人 3.6% |
| 13 | 患者様の観察はできていましたか     | 0人 0.0%       | 9人 40.9%  | 13人 59.1%   | 0人 0.0%  | 0人 0.0%  | 3人 5.5%   | 34人 61.8% | 18人 32.7% | 0人 0.0% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |

表4 指導に対するサービスリーダーの自己評価と新人看護師の評価

サービスリーダーの自己評価 n=22 (人)

新人看護師の評価 n=55 (人)

| No | 項目             | サービスリーダーの自己評価 |           |            | 新人看護師の評価 |     |           |           |         |         |         |
|----|----------------|---------------|-----------|------------|----------|-----|-----------|-----------|---------|---------|---------|
|    |                | とても満足         | 満足している    | あまり満足していない | 満足していない  | 未記入 |           |           |         |         |         |
| 1  | 指導に満足しているか     | 0人 0.0%       | 12人 54.5% | 10人 45.5%  | 0人 0.0%  | 0   | 30人 54.5% | 23人 41.8% | 2人 3.6% | 0人 0.0% | 0人 0.0% |
| 2  | 自分の役割は達成できましたか | 0人 0.0%       | 12人 54.5% | 10人 45.5%  | 0人 0.0%  | 0人  |           |           |         |         |         |

表5 サービスリーダーの指導に関する意見 n=22 (人)

| No | 項目                    | 1時間以内     | 1~2時間    | 2時間以上     |         |
|----|-----------------------|-----------|----------|-----------|---------|
| 1  | 1項目の指導に要した時間          | 11人 50.0% | 7人 31.8% | 4人 18.2%  |         |
|    | 項目                    | とても適切     | 適切       | あまり適切ではない |         |
| 2  | 「十分に行動がとれる」の評価は適切でしたか | 0人 0.0%   | 6人 27.3% | 14人 63.6% | 2人 9.1% |

表6 サービスリーダーがそばにいてくれたことへの新人看護師の意見 n=55 (人)

| No | 項目                   | とても安心     | 安心        | あまり安心ではない | 安心ではなかった |
|----|----------------------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1  | サービスリーダーがいたことで安心であった | 30人 54.5% | 23人 41.8% | 2人 3.6%   | 0人 0.0%  |